

定例記者会見

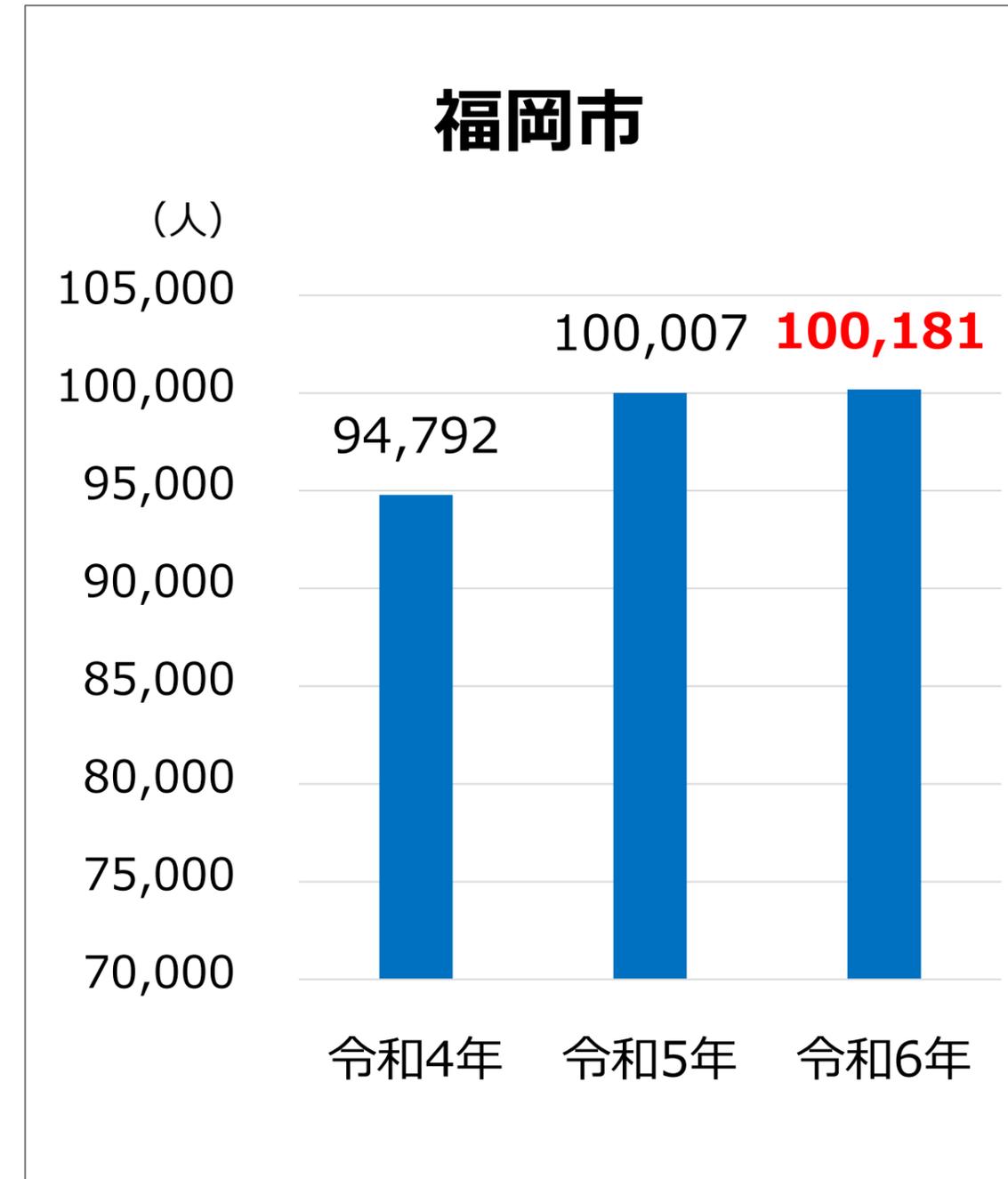
令和7年8月6日(水) 13時30分

夏季における救急医療

福岡市医師会 副会長 松浦 弘

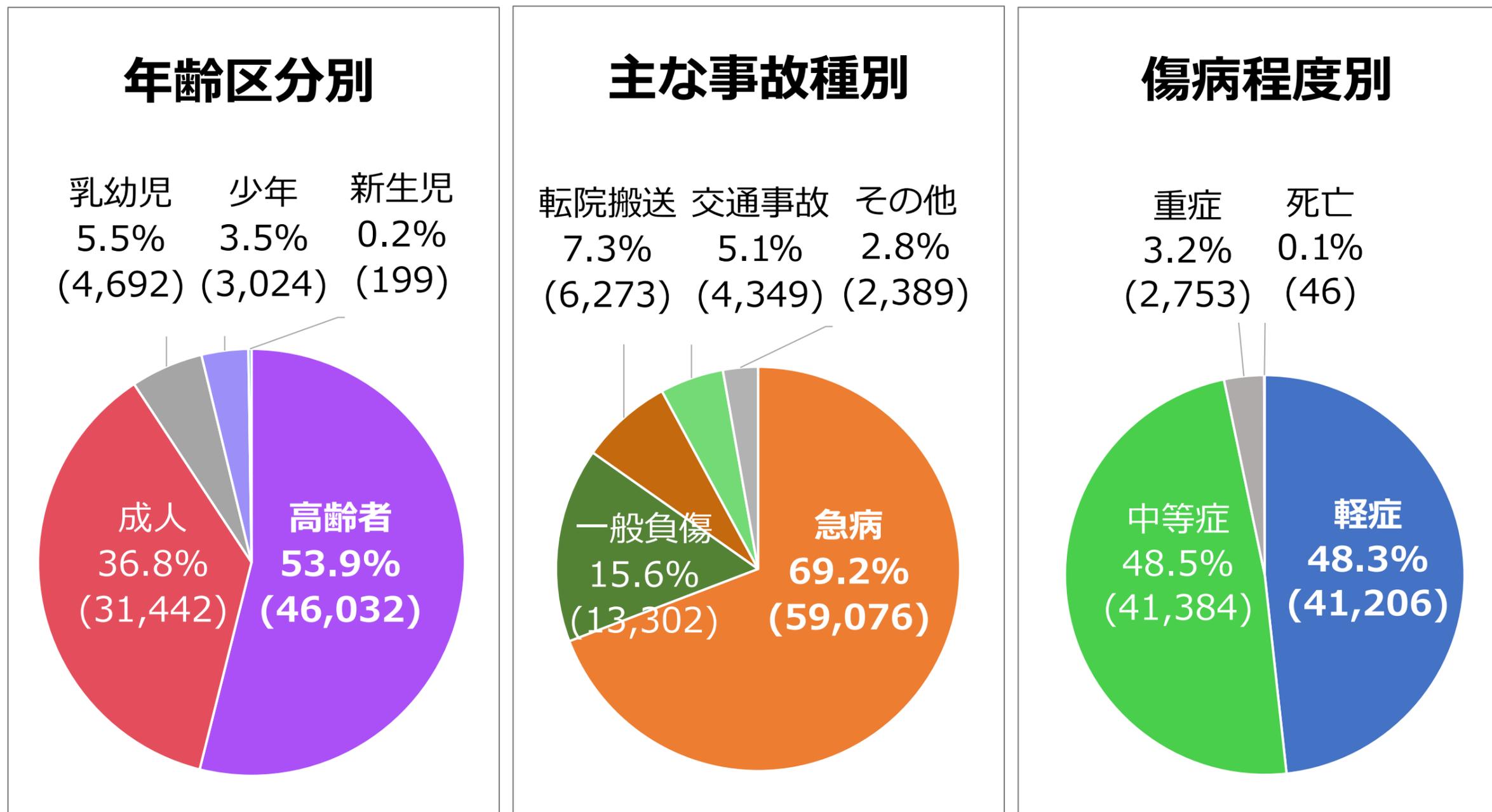


1. 救急出動件数推移



※総務省・福岡市HPより

2. 搬送状況



(福岡市 令和5年)

※福岡市HPより

3. 現場到着平均所要時間

全 国	10分 0秒
福岡市	8分19秒

(令和5年)

福岡市は全国でもトップクラスの早さ
救急医療提供体制が整っており恵まれた環境



※総務省・福岡市HPより

4. 市民の皆様へ

< お願い >

- **#7119**（救急安心センター事業）、**#8000**（こども医療電話相談事業）の利用
- 平日の日中時間帯にかかりつけ医への受診
- 救急車の適正利用にご協力ください

< お知らせ >

○ マイナ救急

救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し病院選定等に資する情報を把握

実証事業：令和7年秋頃～令和8年3月31日

本格運用：令和8年4月～

病歴や飲んでいる薬を正確に伝達

→ 円滑な搬送先病院の選定や適切な応急処置

→ 搬送先病院で治療の事前準備

5. 熱中症

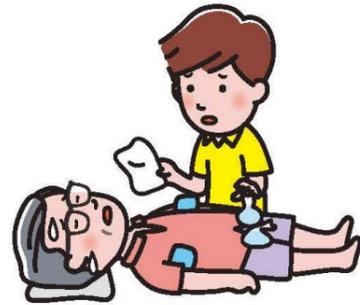
分類	症状
軽 症	めまい、立ちくらみ、汗がとまらない、こむら返りなど
中等症	頭痛、吐き気、体がだるい(倦怠感)、ぼーっとする(虚脱感)など
重 症	呼びかけても返事がおかしい(意識障害)、まっすぐ歩けない(手足の運動障害)、けいれん、体があつい(高体温)など
最重症	深部体温が40度以上で重い意識障害がある

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難



衣服をゆるめ、からだを冷やす(首の周り、脇の下、脚の付け根など)



経口補水液を補給*



*経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

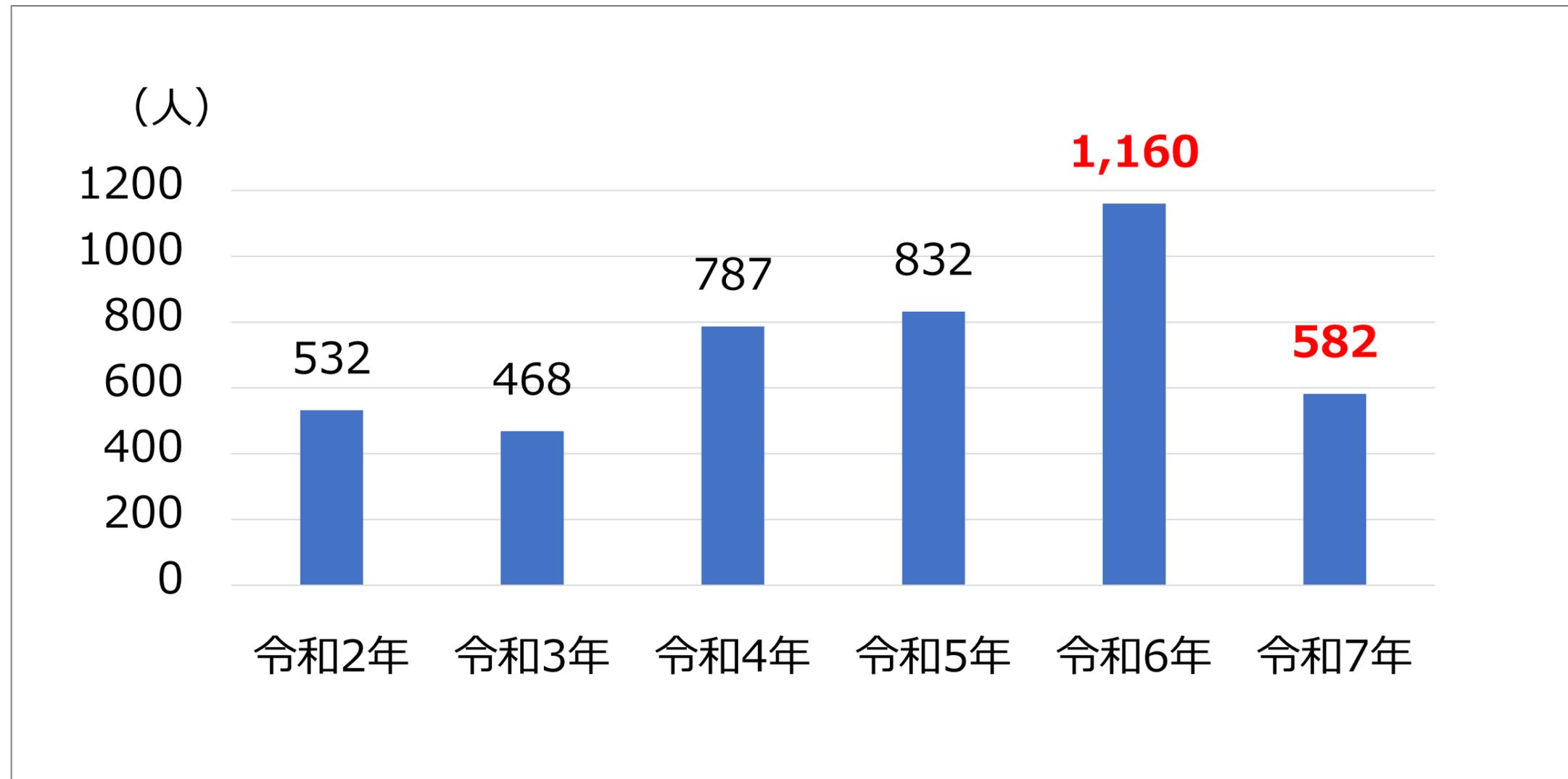


応急処置後も症状が改善されない場合は医療機関を受診

重症程度の症状がある時は **ためらわずに救急車を!**

※厚労省・福岡市HPより

6. 熱中症による救急搬送者数推移（福岡市）

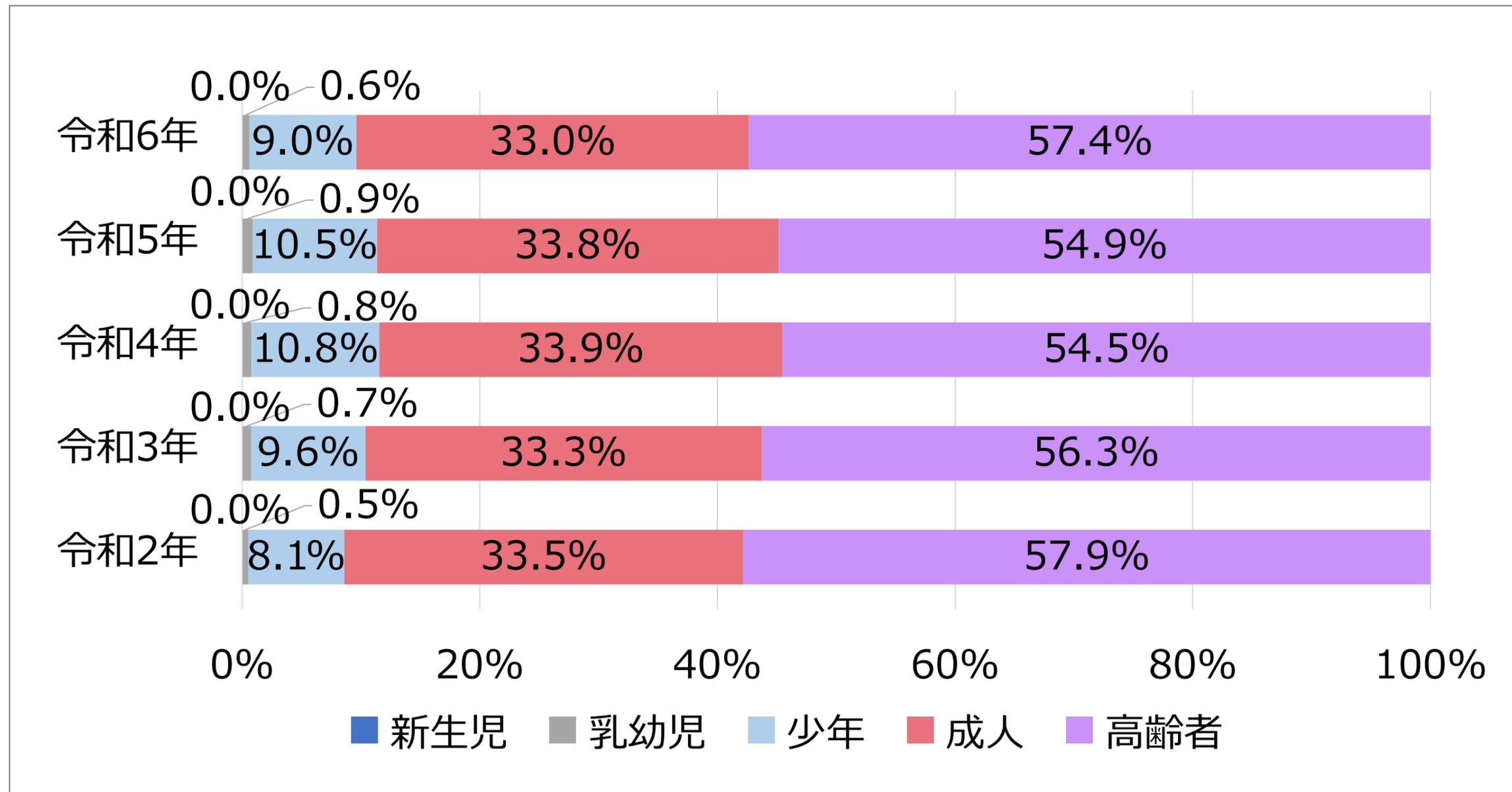


令和6年は前年比39%増、過去最多を記録

※福岡市HPより

7. 熱中症による救急搬送状況（全国）

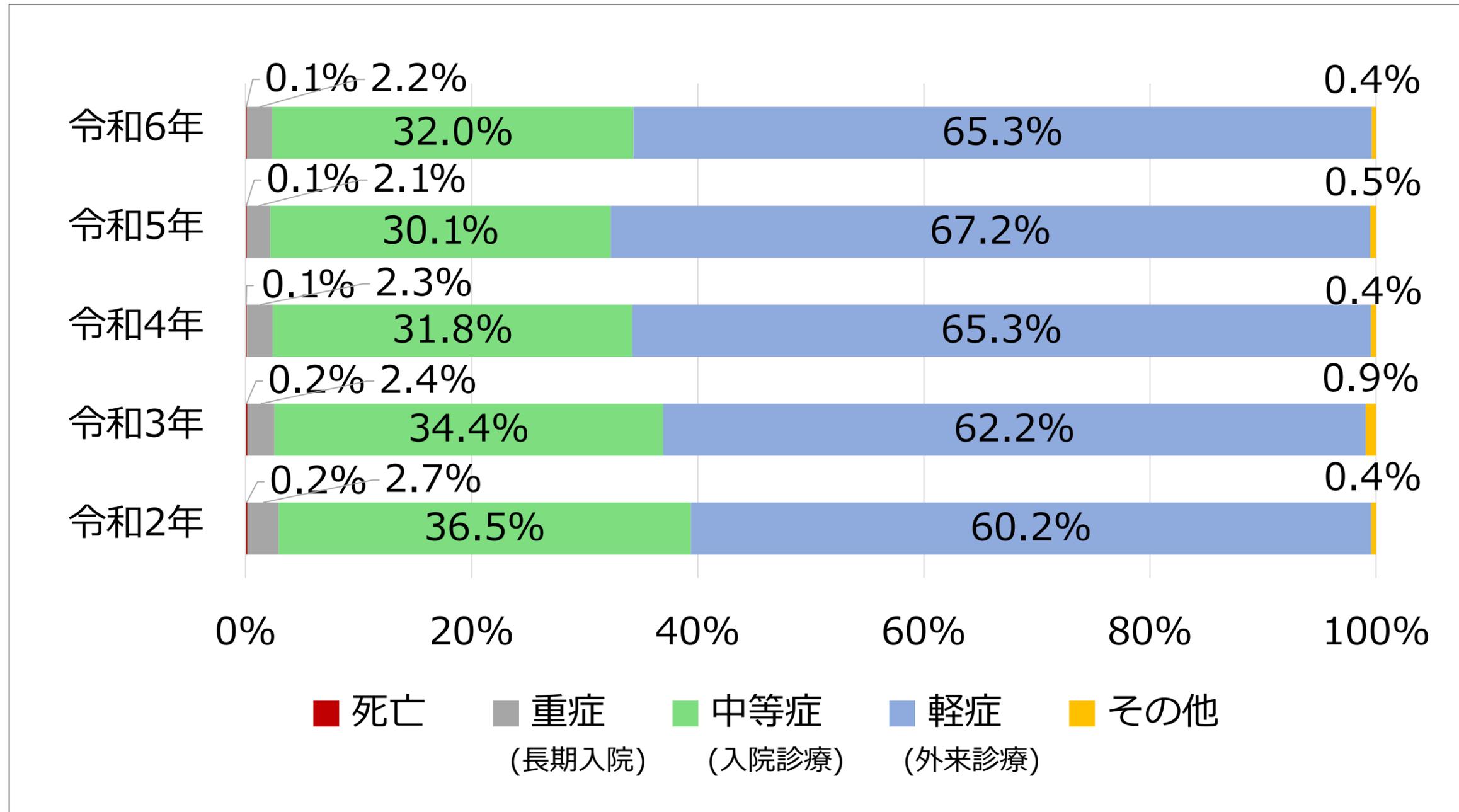
① 年齢区分別（令和2年～令和6年）



※総務省HPより

8. 熱中症による救急搬送状況（全国）

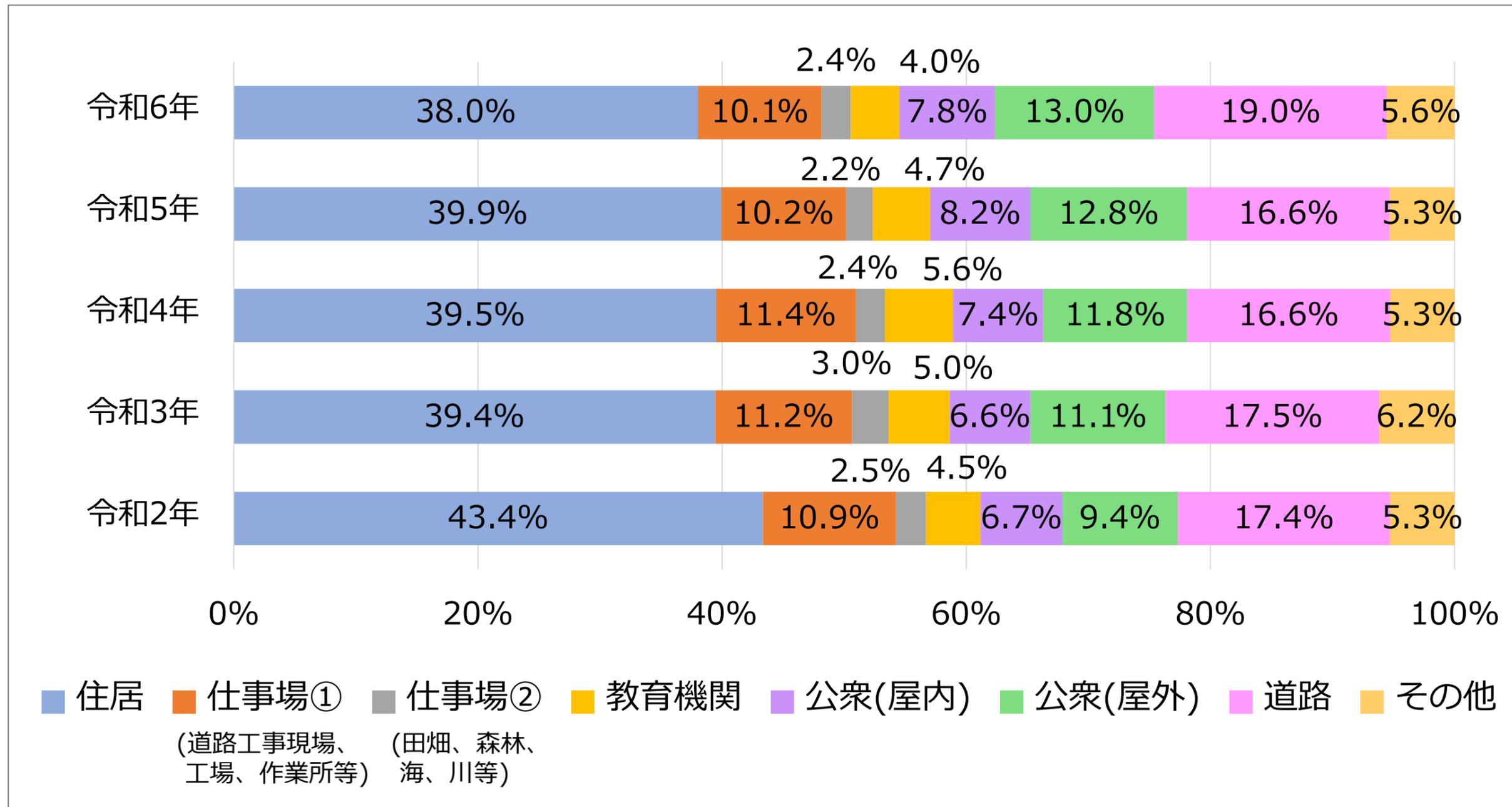
② 医療機関での初診時における傷病程度別（令和2年～令和6年）



※総務省HPより

9. 熱中症による救急搬送状況（全国）

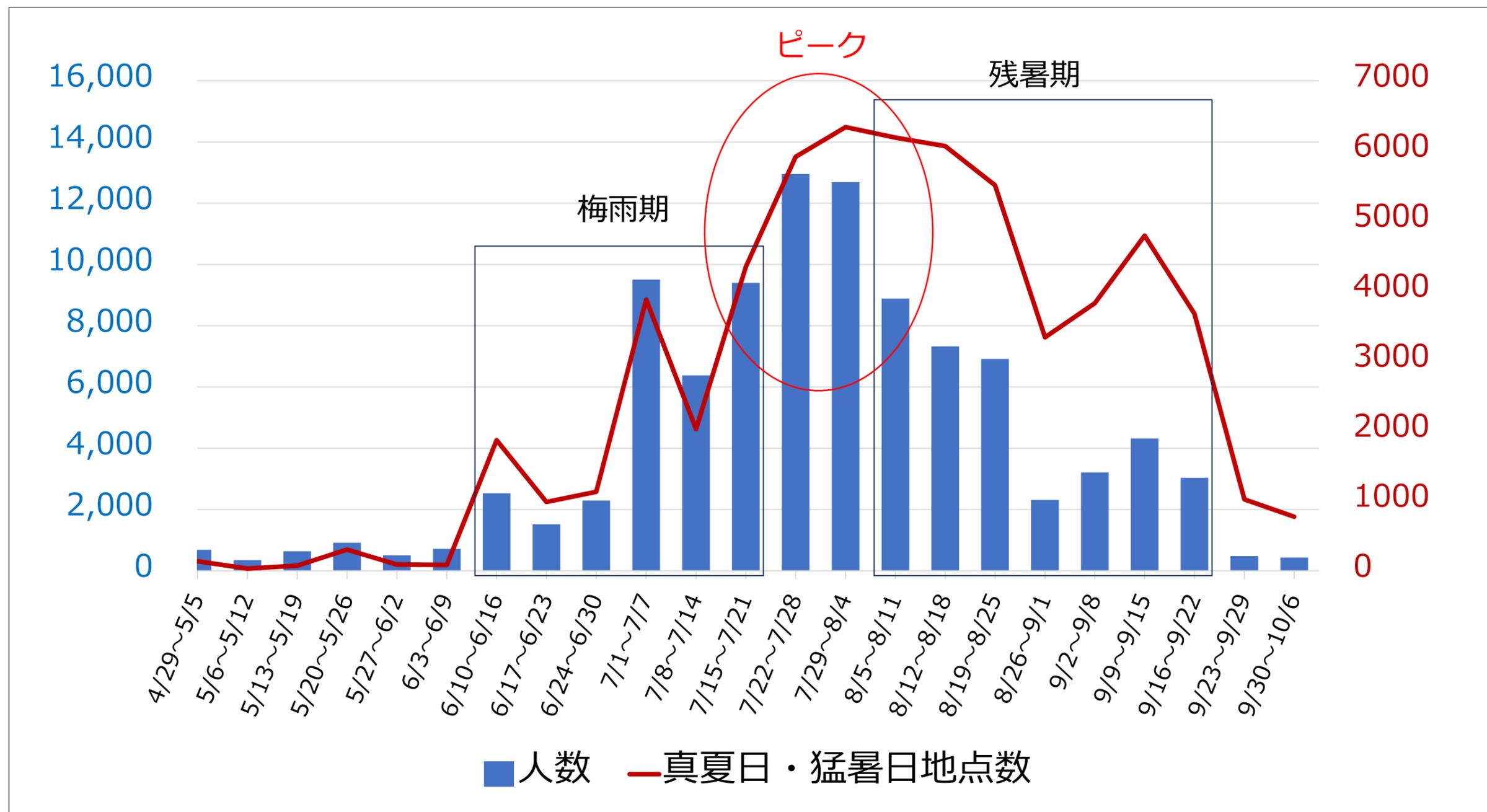
③発生場所別（令和2年～令和6年）



※総務省HPより

10. 熱中症による救急搬送状況（全国）

④ 各週の比較（令和6年4月29日～10月6日）



※総務省、国土交通省HPより

1 1. 熱中症予防のポイント

< 暑さを避ける >

- ・エアコン等で温度をこまめに調節
- ・遮光カーテン・すだれの利用、打ち水の実施
- ・外出時には日傘の使用、帽子の着用
- ・天気のよい日は日陰の利用、こまめな休憩
- ・吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

< こまめに水分補給する >

- ・室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給する

< 外出時は「クールシェアスポット」を利用する >

- ・涼しい場所に立ち寄り休憩することで熱中症を予防する
「クールシェアふくおか」実施中



※厚労省・福岡市HPより

1 2. 職場における熱中症対策義務化

職場における熱中症対策強化のため

令和7年6月1日から改正労働安全衛生規則が施行

< 内 容 >

- (1) 早期発見のための**体制整備**
- (2) 重篤化防止措置の**実施手順作成**
- (3) 体制や実施手順の**関係作業員への周知**

< 対 象 >

「WBGT 28度以上又は気温 31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えての実施」
が見込まれる作業

※厚労省HPより